

Borderline resectable (ボーダーライン・レセクタブル) 膵癌に対する術前化学療法としてのゲムシタビン+ナブパクリタキセル (GEM+nab-PTX) 療法の feasibility 試験にご参加いただいた患者さんへ

研究課題名

Borderline resectable (ボーダーライン・レセクタブル) 膵癌に対する術前化学療法としてのゲムシタビン+ナブパクリタキセル (GEM+nab-PTX) 療法の feasibility 試験の長期フォローアップ

研究対象

Borderline resectable 膵癌に対する術前化学療法としての GEM+nab-PTX 療法の feasibility 試験に登録した患者さんを対象とします。

研究の意義・目的

Borderline resectable 膵癌に対する治療は術前治療後に治療効果を再評価し、治癒切除可能か否かの検討を行った後に外科的治療をすることが広く行われています。しかし、現状では、最良の術前治療の方法や治療期間については明らかになっていません。

これまでに borderline resectable 膵癌の患者さんへ術前治療に GEM+nab-PTX 療法を 2 コース投与した前向き臨床試験の長期成績の報告はありません。Borderline resectable 膵癌と診断され、術前治療として GEM+nab-PTX を 2 コース施行した患者さんの予後を明らかにすることは、本疾患を有する患者さんに対する、より有望なレジメンの確立と予後の改善に寄与することが期待されます。

研究機関

杏林大学医学部附属病院

方法

本調査研究に対象となる患者さんのカルテを調査し、長期予後を調べます。プライバシーの保護と個人情報の取り扱いについて、本研究に関連するすべての情報は、研究の為に用いられ、すべての個人情報は秘密厳守で取り扱います。調査対象患者さんの氏名および個人を特定する情報は本研究の結果報告などには一切使用しません。患者さんなどからのご希望があれば、その患者さんの診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

※この研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先へご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究機関名：杏林大学医学部附属病院 腫瘍内科

住 所：三鷹市新川 6-20-2

電 話：0422-47-5511（代表）

担当者(研究責任者)：岡野 尚弘 内線 PHS 7594